２０２３年１０月（第８９号）

# Design

## ～ 換 気 を 徹 底 し ま し ょ う ～

発行元：地域包括ケア病棟“彩り”・リハビリ科・地域医療連携室

## 京都府より、紹介受診重点医療機関に指定されました

**～ 引き続き、地域の先生方との連携を強化してまいります ～**

令和５年８月１日付で京都府から「紹介受診重点医療機関」として位置付けられました。「紹介受診重点医療機関」とは、かかりつけ医からの紹介状を持って受診いただくことに重点を置き、手術・処置をはじめ化学療法や高額医療機器等を必要とする外来を行う医療機関のことで、医療機関の役割分担と連携の強化を一層推し進めるため、令和４年度診療報酬改定で新設されました。

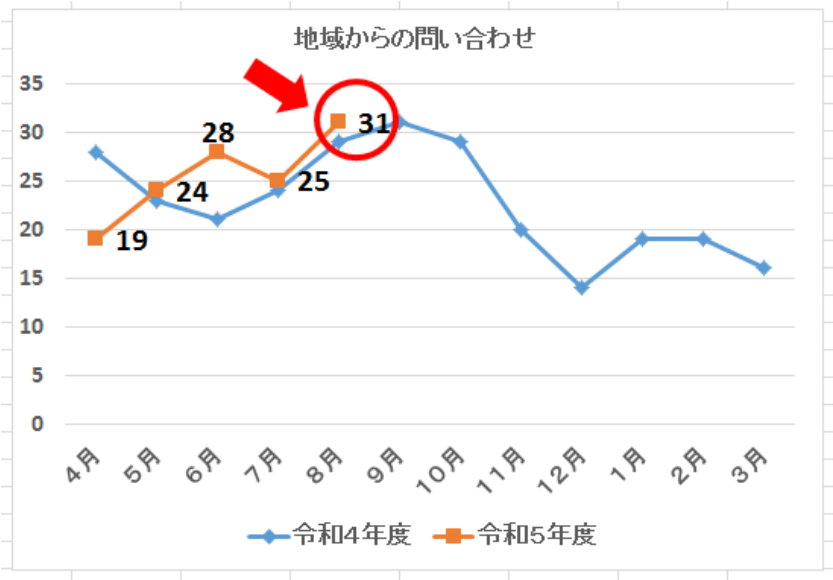
この度、当院は指定を受ける意向を地域の協議の場（山城南地域医療構想調整会議）で示し、この度、京都府から「紹介受診重点医療機関」の指定を受け、京都府のホームページにその旨の公表がされたところです。（https://www.pref.kyoto.jp/iryo/ssj.html）

今後も引き続き、地域の先生方との連携を強化し、病院機能を維持・発展させることで当地域に貢献したいと考えていますので、ご支援・ご協力賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

## 令和５年８月の問い合わせ状況について

**～ いつもありがとうございます～**

８月、３１名の患者さんの問い合わせを頂戴しました。いつもありがとうございます。引き続き、よろしくお願いします。（松田・中嶋）



## 老健やましろより

### ～ 夏まつりを開催しました ～

新型コロナウイルス感染症が５類に移行となり、各地では様々な行事が開催されるようになりました。介護老人保健施設やましろでも、８月１６日、１７日の２日間、夏まつりを開催しました。昨年は新型コロナウイルス感染症の流行により開催を中止したため、２年ぶりの開催となり、感染対策を講じて各フロアごとの開催となりましたが、賑やかに祭りばやしが流れる中、射的や輪投げ、一円玉落としなどのゲームのほか、おやつのたこ焼きとジュースを楽しまれました。

射的や輪投げでは、的中するとおやつのたこ焼きが追加になるという特典もあり、入所者様もゲームになると、それまでのにこやかな笑顔から一転、真剣な表情でチャレンジされ、外の暑さに負けない盛り上がりになりました。

コロナ禍以前のようにご家族も一堂に会しての賑やかなイベントは難しいですが、これからもご利用者様に施設生活を楽しんでいただけるよう、様々な取り組みを行っていきたいと思っております。（老健やましろ 管理部長 三村　裕子）

## 地域医療連携室より

### ～ 戦争の経験について～

太平洋戦争の終戦から今年で７８年になりました。この７８年の間、日本では戦争は起きていませんが、昨年からのロシアのウクライナ侵攻では、幼い子どもを含む多くの人がなくなったり、住む家がなくなったりしていて、とても他人事とは思えません。この戦争により穀物等の価格も上昇し、私たちの生活にも大きな影響が出ています。

さて、小学６年の長男が、夏休みの自由研究で戦時中の暮らしについて調べるというので、「おじいちゃん（私の父）に、曾おじいちゃん（私の祖父）から戦時中のことを聞いたことあるかもしれないので、聞いてみたら？」と伝えました（私の祖父は明治４２年生まれで、太平洋戦争のときは陸軍で揚子江に行っていました）。そして、先日実家に帰った時、長男が祖父（私の父）にこのことについて聞いたところ、「曾おじいちゃんは戦争で仲間を沢山亡くしたから戦争のときの話をしたがらなかった」との返事だったようです。

なぜ、私の祖父が戦争の話をしなかったのか…。長男と一緒に考えました。自分だけ生き残って申し訳ないという気持ちだったのか、辛い思い出を思い出したくないのか…。祖父が亡くなっている今となってはわからないのですが、仮に祖父が生きていて、戦争の話を聴いたとしても、やっぱり戦争の話をしてくれないような気がします。

戦争経験者の高齢化等により、実際に日本が経験した戦争をどのように後世に語り継いでいくのかについてよく報道されていますが、今回、長男の自由研究をきっかけに、語りたくないくらい悲惨な戦争経験を後世に伝えるため、“役割”として語って頂いている方がおられることに感謝しないと、と思いました。そして、その時間は無限ではなく、有限であることも忘れてはいけません。

（地域医療連携室 室長 南出　弦）